

奨学生推薦基準

(1) 人物についての基準

人物は広く各分野に渡ることが望ましく、創造力、行動力に富む英才で、将来、社会のそれぞれの分野でリーダーとして活躍することが期待される者。

(2) 健康についての基準

心身共に就学に堪え、将来、社会に出ても十分活動できる見込みが確実である者。

(3) 学業成績についての基準

大学における学業成績が次の基準を満たし、更に、学業の発展向上が期待できる者。

【学業成績の基準】

$$\frac{(\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)}{(\text{全単位数} \times 3)} \times 100 = 85 \text{ 以上の者}$$

(参考 優=100点~80点 良=79点~70点 可=69点~60点)

(4) 家計についての基準

経済的事由により、就学に支障がある者。

本人が属する*世帯の税込年収の合計が 800 万円未満を一応の基準とする。
*世帯の税込年収：①両親共働きの場合はその合計。
②年金収入等がある場合はそれも含める。

(5) 大学(学部)奨学生推薦基準

①本会が指定した大学2年次に在学し(但し、4月入学生のみ)、学力優秀、向学心に富み、経済的事由によって就学に支障がある者。

②申請時(4月1日現在)22歳以下の者

③在学する大学によって推薦された者。

(6) 大学院奨学生推薦基準

①大学(学部)で本会の奨学生であった者。

②大学(院)を卒業(修了)し、指定校内の大学院(専門職大学院も含む)へ引き続き進学し、大学院より推薦された者。

(7) その他

①他の企業・団体から学資金(国の奨学金を除く)の給付を受けていない者。

②国費留学や日本学術振興会等より多額の援助を受けていない者(援助を受ける場合は事務局と別途調整)。

以上

募 集 ・ 選 考 要 領

1. 募集方法

従来通り、指定 20 大学への推薦依頼による。

2. 選考方法

『学部生』

- ・一次選考 書類審査
- ・二次選考 ①作 文：その年の作文の題（選考日当日通知）に基づき作成
②面 接：出願 書類・作文等に基づき、選考委員との質疑応答

『大学院生（当会奨学生で修士・博士課程に進学する者）』

- ・一次選考 書類審査
- ・二次選考 面 接：各個人のプレゼンテーション及び質疑応答

3. 面接予定日

◆西日本地区 10 大学【竹中育英会大阪事務局に於いて】

5 月 2 5 日（木）	5 月 26 日（金）	5 月 27 日（土）
学部生候補者	学部生・大学院生候補者	大学院生候補者

◆東日本地区 10 大学【竹中育英会東京事務局に於いて】

6 月 1 日（木）	6 月 2 日（金）	6 月 3 日（土）
学部生候補者	学部生・大学院生候補者	大学院生候補者

- ※ 尚、二次選考の詳細につきましては後日別途ご連絡致します。
新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインでの面接実施も検討します。
- ※ 面接が受けられない場合は採用資格を失いますので、対象奨学生に周知徹底して下さい。又、面接当日はスーツ着用等、きちんとした服装を心がけて下さい。

以上

提出書類一覧

[学部生]

1. 奨学生願書 (本会指定の用紙を使用する。)
2. 奨学生推薦調書 (本会指定の用紙を使用する。推薦所見は別紙添付でも可。)
3. 学業成績表 (学校発行のもの)
4. 健康診断証明書 (学校指定の用紙でも可。本年度の健康診断結果が間に合わない場合は前年度の結果を送付していただき、本年度の結果が出次第送付のこと。)

[大学院生]

- 上記 [学部生] と同様 1.～4. の各書類
5. 進 学 届 (本会指定の用紙を使用する。)

上記の他に「学部生」「大学院生」共 以下の書類を添付して下さい。

- ◆ 住 民 票 (マイナンバーの記載は不要。直近3ヶ月以内に取得。)
 - 自宅の場合：同居する全員記載の住民票
 - 自宅外居住の場合：①帰省先に住民票がある場合は、帰省先の全員記載の住民票。
②自宅外に住民票を移している場合は、自身の住民票と帰省先
全員記載の住民票。
- ◆ 所 得 証 明 書

┌	家計支持者が給与所得者の場合は「源泉徴収票の写し」。
└	家計支持者が <u>給与所得者以外</u> の場合は「確定申告書の写し」。

※確定申告書は第一表・二表の写しを提出。税務署受領印や税理士作成印のあるもの。電子申告を行った場合は、受付日時が記載されている確認票の写しを提出する。

※A4サイズより小さい書類は、A4の紙に貼付して下さい。

《 提出期限 》 4月27日(木)

《 提出先 》 〒151-0051
東京都渋谷区千駄ヶ谷1-14-5 千駄ヶ谷インテス10階
公益財団法人 竹中育英会 東京事務局
Tel.03-3796-3880

お願い

郵送での上記書類提出に加えて、願書のWordデータを当会宛にメール添付でお送りください。

以 上

よくあるご質問 (FAQ)

【国内願書】

Q. 推薦書は別紙でも大丈夫でしょうか？

A. 別紙でも結構です。その場合、「別紙添付」と記入いただき、別紙に推薦文を記入の上、推薦者自筆でのサイン・押印をお願いします（押印が難しい場合は、自筆サインだけでも結構です）。

Q. 今年は新型コロナウイルスの影響で、健康診断を受診できていません。提出なしでも良いでしょうか？

A. とりあえず昨年（もしくは直近受診）の診断結果をご提出ください。後日、健康診断を受けられたタイミングで最新のを後送してください。また、本人のかかりつけ医他指定の病院以外でも、検査項目が網羅されていれば差し支えありません。

Q. 高等教育の修学支援新制度との併給は可能でしょうか？

A. 可能です。

Q. 他奨学金との併給は可能でしょうか？

A. 学内奨学金（各大学独自の奨学金）および日本学生支援機構奨学金（JASSO）との併給は可能です。他の民間団体の奨学金とは併給不可とさせていただきます。

Q. 日本学術振興会特別研究員等との併給は可能でしょうか？

A. まずは事務局にご相談下さい。ケースにより、2022年より50,000円/月での支援継続も検討することとなりました。

Q. 国籍の制限はありますか？

A. ありません。

設立の動機

本会の設立は創設者であり初代理事長である竹中藤右衛門の意志によるものである。昭和34(1959)年、当時 竹中工務店 相談役 であった藤右衛門が、父祖の事業を継承して満60年を迎えたとき、“永い間、建築一筋に生き抜くことができたのは、竹中の努力精進だけによるものではない。一般社会から理解され、信頼され、暖かく見守って頂いたからである。このような恩恵に感謝せずにはおられない。何とかして、世のためになる仕事がしたい。”と述懐した。この「世のため人のために利益を社会に還元したい。」という強い理念が本会設立の契機となったものである。

事業内容

本会は、昭和36年12月20日文部省から財団法人の設立認可を受け、その後平成24年4月1日内閣府より新たに認定を受けた公益財団法人であり、事業は以下の三事業に大別される。

- (1) 学生及び生徒に対する学資金の給与、学生寮の設置運営
- (2) 研究助成金の交付、学校教育設備の助成
- (3) 文化及び芸術の振興を目的とする事業の実施及び支援

奨学金制度の基本精神

- (1) 奨学生は真摯に学業に専心し、人間形成に励むよう努める。
- (2) 奨学生の専攻科目は本人の自由とする。
- (3) 奨学金返済の義務は課さない。
- (4) 奨学生が学業を修了した後の進路については、本人の自由とする。
- (5) 奨学生は、有為な人物となって社会に貢献できるよう努力する。

本会はこれらの基本精神に適った学生に対し、学資金を援助するものである。

留学支援制度の創設

本会は昭和36年の創立以来、国内の大学生・大学院生を対象に育英事業を展開してきたが、創立50周年に当たる平成23年、支援の対象を海外の大学へ留学する学生に拡大し、広く国際的舞台上で活躍できる人材の育成に努めることとした。

奨学生となるための必要条件

1 人物についての基準

人物は広く各分野に渡ることが望ましく、創造力、行動力に富む英才で、将来、社会のそれぞれの分野でリーダーとして活躍することが期待される者。

2 健康についての基準

心身共に健康で就学に堪え、将来、社会に出ても十分活動できる見込みが確実である者。

3 学業成績についての基準

大学における学業成績が次の基準を満たし、更に、学業の発展向上が期待できる者。

$$\frac{(\text{優の単位数} \times 3) + (\text{良の単位数} \times 2) + (\text{可の単位数} \times 1)}{(\text{全単位数} \times 3)} \times 100 = 85\text{以上の者}$$

(注) 優=100点~80点, 良=79点~70点, 可=69点~60点

4 家計についての基準

経済的事由により、就学に支障がある者。

本人が属する※世帯の税込年収の合計が800万円未満を一応の基準とする。

※世帯の税込年収：①両親共働きの場合はその合計。

：②年金収入等がある場合はそれも含める。

5 大学(学部)奨学生推薦基準

- (1) 本会が指定した大学2年次に在学し(但し、4月入学生のみ)、学力優秀、向学心に富み健康であるが、経済的事由によって就学に支障がある者。
- (2) 申請時(4月1日現在)22歳以下の者。
- (3) 在学する大学によって推薦された者。

6 大学院奨学生推薦基準

- (1) 大学(学部)で本会の奨学生であった者。
- (2) 大学(院)を卒業(修了)し、指定校内の大学院(専門職大学院も含む)へ引き続き進学し、大学院より推薦された者。

7 その他

- (1) 国費留学や日本学術振興会等より多額の援助を受けていない者。
- (2) 他の企業・団体から学資金(国の奨学金を除く)の給付を受けていない者。

奨学金の金額と給付方法

1 奨学金

大 学 生	月 額	80,000円
-------	-----	---------

大 学 院 生	月 額	80,000円
---------	-----	---------

2 給付期間

奨学生になってから、在学する大学・大学院の正規の最短修業期間を終了するまでとする。

3 給付方法

原則として毎月、当月分を在学する大学を経て本人に給付する。

奨学金給付の打ち切り、休止

1 次の各号の一つに該当すると認められたときは給付を打ち切るものとする。

- (1) 傷病のため、就学の見込みを失ったとき。
- (2) 学業成績が低下し、または性行が不良となったとき。
- (3) 休学の事由が不相当であるとき。
- (4) 退学したとき。
- (5) その他、奨学生として不相当となったとき。
- (6) 国費留学や日本学術振興会等より多額の援助を受けることになったとき。
- (7) 他の企業・団体から学資金（国の奨学金を除く）の給付を受けることになったとき。

2 留学、傷病等により休学したときは給付を休止する。

（但し、大学間の交換留学として単位交換が認められる場合にはこの限りではない。）

出願の手続き

奨学金の給付を受けようとする者は次の書類を揃え、在学する学校を経て出願する。

- (1) 竹中育英会奨学生願書（本会指定の用紙）
- (2) 竹中育英会奨学生推薦調書（本会指定の用紙）
- (3) 学校発行の学業成績表
- (4) 健康診断証明書
- (5) 進学届（大学院奨学生のみ。本会指定の用紙）
- (6) 住民票
自 宅 の 場 合：同居する全員記載の住民票
自宅外居住の場合：① 帰省先に住民票がある場合は、帰省先の全員記載の住民票
② 自宅外に住民票を移している場合は、自身の住民票と帰省先全員記載の住民票
- (7) 所得証明書
 - ① 家計支持者が給与所得者の場合は「源泉徴収票の写し」
 - ② 家計支持者が給与所得者以外の場合は「確定申告書の写し」

奨学生の決定

提出された願書に基づいて、次の順序で奨学生を決定する。

- (1) 奨学生選考委員会が書類ならびに面接審査により選考を行う。
- (2) (1)の結果を理事長が承認し決定する。
- (3) 結果は、推薦校を経て出願者に通知する。

奨学生の義務

1 誓約義務

奨学生に選定された旨の通知を受けたときは、速やかに本会所定の誓約書を提出する。

2 報告義務

奨学生は次の事項について報告する。

- (1) 学業成績
年度毎に大学を経て成績を報告する。
- (2) 研究成果
大学生は学部卒業時、大学院生は課程修了時に成果を所定の用紙にまとめて報告する。
- (3) 次の事項については遅延なく報告すること
 - ① 休学、留学、復学、転学の場合。(この場合には大学の証明を要する。)
 - ② 保護者または保証人を変更しようとする場合。
 - ③ 本人、保護者、保証人の身分、住所その他に変動があった場合。
- (4) 奨学金の受領
奨学金の給付を受けたときは、その都度、葉書に本人の自筆で受領書を記入し印鑑を押捺し、提出すること。

3 行事参加の義務

新奨学生歓迎会・卒業奨学生歓送会等の学生相互の親睦と、本会関係者・奨学生OBとの交流を目的とした行事に参加すること。

(ちなみに学部卒業時に行われる一流ホテルでの正餐は奨学生が社会に出る自覚と礼節を体得するため、創設者の発意によって行われている。)

竹中育英会奨学生願書 (学部生)

ふりがな		男・女	大学		写真貼付 (縦4.5×横4cm) ※本人単身・胸から上 正面向・脱帽、無背景 最近3カ月以内に撮影 したもの
氏名			学部		
			学科		
生年月日	西暦 年 月 日 (満 才)	学年			
本籍地	都・道・府・県	入 学	西暦	年	月
		卒業予定	西暦	年	月
ふりがな					
現住所	(〒 -) 携帯 () / TEL ()				自宅 ・ 自宅外
	E-mail		携帯 mail		
ふりがな					
家族住所	(〒 -) TEL ()				持家 ・ 借家 ・ 社宅 ・ その他 ()
学 歴 ・ 職 歴 等 (高等学校入学以降)					
高等学校		西暦	年	月入学	～ 西暦 年 月卒業
大 学		西暦	年	月入学	～ 西暦 年 月卒業
		西暦	年	月	～ 西暦 年 月
趣味・特技			賞罰		
通学所要時間	公共交通機関	分	徒 歩	分	その他() 分 合 計 分
■ 1) 将来の目標 (人生目標) 2) 進路計画 (大学院進学・就職) 3) 大学での学習計画 4) その他 (学業以外の取組・家庭事情 等) について記入して下さい。					

◆ 家族欄

※1 父母兄弟姉妹及び同居の家族は全て記入
 ※2 家計支持者に全て○印 (父母共働きの場合は両方に○印)
 ※3 同居者には○印を記入
 ※4 右の年収は下表の①及び②～⑤の所得金額を合わせた額を記入

家計支持者	同居別居	続柄	氏名	年齢	職業・勤務先 / 在学学校・学年	勤続年数	年収 (税込)
		父				年	千円
		母				年	千円
		本人					

父または母 死別 (年 月) ・ 離別 (年 月)

父または母・上記記入の家族 (続柄) が障がい者 等の場合 その認定年月 (年 月)

◆ 主たる家計支持者の収入状況 (百円の位を四捨五入)

※1 ①～⑥ 該当箇所記入の事
 ※2 給与所得者は「源泉徴収票の写し」を添付 給与所得以外にも収入がある場合は「源泉徴収票の写し」と「確定申告書 (税務署の受付印有) の写し」を添付 その他の場合は「確定申告書 (税務署の受付印有) の写し」を添付

① 給与所得者 (税込年収)		② 商・工業 従事者		③ 農・林・水産業 従事者	
千円	収入・売上金額合計	千円	収入・売上金額合計	千円	収入・売上金額合計
	所得金額 (税込)	千円	所得金額 (税込)	千円	所得金額 (税込)
④ 自由業 ()		⑤ 公的年金・その他 ()		⑥ 臨時所得	
千円	収入・売上金額合計	千円	収入・売上金額合計	退職金・保険金・資産譲渡・山林所得 その他 ()	
千円	所得金額 (税込)	千円	所得金額 (税込)	千円	

◆ 資産状況

預貯金	千円	有価証券	千円	宅地	m ²
農地	ha	山林	ha	家屋	m ²

◆ 志望者の1ヶ月の生活費について (※注 収入合計 = 支出合計 となるように記入の事)

収入			支出		
親族から	千円	食費	千円	授業料積立	千円
給付型奨学金 (JASSO)	千円	住居費	千円	娯楽費	千円
(その他:)	(千円)	交通費	千円	雑費	千円
貸与型奨学金 (JASSO)	千円	教養・書籍費	千円	その他 ()	千円
(その他:)	(千円)	学用品費	千円		
アルバイト ()	千円	通信費	千円		
その他 ()	千円				
収入合計	千円			支出合計	千円

◆ 授業料免除について (※該当するものに○印)

昨年度 (年度) 全額免除 2/3 免除 半額免除 1/3 免除 その他 (円)
 今年度 (年度) 全額免除 2/3 免除 半額免除 1/3 免除 その他 (円)

年 月 日

公益財団法人 竹中育英会理事長 殿

上記の通り記載事項に相違ありません。貴法人奨学金の給付を受けたく申請致します。

本人氏名 (自筆) 印

竹中育英会奨学生願書 (学部生)

ふりがな	たけなか たろう		男 ・ 女	育英大学	写真貼付 (縦4.5×横4cm) ※本人単身・胸から上 正面向・脱帽。無背景 最近3カ月以内に撮影 したもの
氏名	竹中 太郎			教育学部	
				文学科	
生年月日	西暦 20〇〇 年 4 月 1 日 (満 20 才)		2 学年		
本籍地	埼玉	都・道・府・県	入 学 西暦 20〇〇 年 4 月 卒業予定 西暦 20〇〇 年 3 月		
ふりがな	とうきょうとしぶやくせんだがや				
現住所	(〒 151 - 0051) 携帯 090 (1234) 5678 / TEL 03 (1234) 5678 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-14-5 自宅 ・ <input type="checkbox"/> 自宅外				
	E-mail takenakataro@gmail.com		携帯 mail takenakataro@docomo.ne.jp		
ふりがな	さいたまけんかわぐちしたけなか				
家族住所	(〒 332 - 1234) TEL 048 (123) 4567 埼玉県川口市竹中1-2-3 持家 ・ <input type="checkbox"/> 借家 ・ 社宅 ・ その他 ()				
学 歴 ・ 職 歴 等 (高等学校入学以降)					
	竹中 高等学校	西暦 20〇〇 年 4 月入学 ~ 西暦 20〇〇 年 3 月卒業			
	育英 大 学	西暦 20〇〇 年 4 月入学 ~ 西暦 20〇〇 年 3 月卒業 見込			
		西暦 年 月 ~ 西暦 年 月			
趣味・特技	サッカー・音楽		賞罰	なし	
通学所要時間	公共交通機関	30 分	徒 歩	15 分	その他(自転車) 20 分 合計 65 分
<p>■ 1) 将来の目標 (人生目標) 2) 進路計画 (大学院進学・就職) 3) 大学での学習計画 4) その他 (学業以外の取組・家庭事情 等) について記入して下さい。</p> <p>1) 将来は……。</p> <p>2) 大学卒業後は……。</p> <p>3) 大学では……。</p> <p>4) 私の家庭は……。</p> <p style="color: red;">※フォントサイズは11にてご入力下さい。</p>					

◆ 家族欄	※1	父母兄弟姉妹及び同居の家族は全て記入
	※2	家計支持者に全て○印 (父母共働きの場合は両方に○印)
	※3	同居者には○印を記入
	※4	右の年収は下表の①及び②～⑤の所得金額を合わせた額を記入

家計支持者	同居別居	続柄	氏名	年齢	職業・勤務先 / 在学学校・学年	勤続年数	年収(税込)
		父				年	千円
○		母	竹中 育子	45	会社員 株式会社○○	20年	3,500千円
		本人	竹中 太郎	20	育英大学教育学部2年		
		妹	竹中 花子	17	○○高等学校2年		

⑤または母 竹中 一郎 死別 (2000 年 10 月) ・ 離別 (年 月)
 父または母・上記記入の家族(続柄) が障がい者 等の場合 その認定年月 (年 月)

◆ 主たる家計支持者の収入状況 (百円の位を四捨五入)
 ※1 ①～⑥ 該当箇所に記入の事
 ※2 給与所得者は「源泉徴収票の写し」を添付 給与所得以外にも収入がある場合は「源泉徴収票の写し」と「確定申告書(税務署の受付印有)の写し」を添付 その他の場合は「確定申告書(税務署の受付印有)の写し」を添付

① 給与所得者 (税込年収)		② 商・工業 従事者		③ 農・林・水産業 従事者	
収入・売上金額合計	3,500千円	収入・売上金額合計	千円	収入・売上金額合計	千円
所得金額(税込)	千円	所得金額(税込)	千円	所得金額(税込)	千円
④ 自由業 ()		⑤ 公的年金・その他 ()		⑥ 臨時所得	
収入・売上金額合計	千円	収入・売上金額合計	千円	退職金・保険金・資産譲渡・山林所得 その他 ()	
所得金額(税込)	千円	所得金額(税込)	千円	千円	

◆ 資産状況

預貯金	2,000千円	有価証券	千円	宅地	m ²
農地	ha	山林	ha	家屋	m ²

◆ 志望者の1ヶ月の生活費について (※注 収入合計 = 支出合計 となるように記入の事)

収入			支出		
親族から 給付型奨学金 (JASSO)	30千円	食費 住居費 交通費 教養・書籍費 学用品費 通信費	30千円	授業料積立	80千円
(その他:)	(千円)		50千円	娯楽費	5千円
貸与型奨学金 (JASSO)	124千円		4千円	雑費	4千円
(その他:)	(124千円)		4千円	その他(医療費)	1千円
アルバイト(飲食店)	30千円		2千円		
その他()	千円		4千円		
収入合計	184千円			支出合計	184千円

◆ 授業料免除について (※該当するものに○印)
 昨年度 (2000 年度) 全額免除 2/3免除 半額免除 1/3免除 その他 (円)
 今年度 (2000 年度) 全額免除 2/3免除 半額免除 1/3免除 その他 (結果待ち 円)

年 月 日

公益財団法人 竹中育英会理事長 殿

上記の通り記載事項に相違ありません。貴法人奨学金の給付を受けたく申請致します。

本人氏名(自筆) 自筆 印

竹 中 育 英 会 奨 学 生 推 薦 調 書

氏 名	大学	学部 学科	第	学年
	大学大学院 研究科	課程 専攻	第	学年

推薦所見（人物・学力・将来性等について）

推薦所見記入者： 役 職 _____ 氏 名 (自筆) _____ 印 _____

上記の者は人物・学術ともに優秀・健康であって、且つ学資の支弁が困難でありますので、貴会の奨学生として適當の者と認め推薦致します。

年 月 日

学長

職印

公益財団法人 竹中育英会理事長 殿

※本書に加え、学校発行の学業成績表 及び 健康診断証明書（原則3ヶ月以内、学校医・国立診療所・保健所・学校附属病院等の診断書に限る。用紙は学校指定のものでも可）を添付すること。

竹中育英会奨学生推薦調書

氏名	育英大学	教育学部 文学科	第 2 学年
竹中 太郎	大学大学院 研究科	課程 専攻	第 学年

推薦所見（人物・学力・将来性等について）

※フォントサイズは11にてご入力下さい。

推薦所見記入者： 役職 氏名（自筆） 印

上記の者は人物・学術ともに優秀・健康であって、且つ学資の支弁が困難でありますので、貴会の奨学生として適當の者と認め推薦致します。

年 月 日

学長

職印

公益財団法人 竹中育英会理事長 殿

※本書に加え、学校発行の学業成績表及び健康診断証明書（原則3ヶ月以内、学校医・国立診療所・保健所・学校附属病院等の診断書に限る。用紙は学校指定のものでも可）を添付すること。

家 庭 調 査 書

申 請 者	所 属	_____学群 _____学類 _____年次										
		_____課程			_____大学院			_____研究群			_____年次	
	学籍番号								性別	男・女	現住所	〒 _____ TEL (_____)
	フリガナ									家族住所	〒 _____ TEL (_____)	
氏 名												
家 族 及 び 所 得	就 学 者 を 除 く 家 族	続柄	氏 名	年齢	職 業	在職 期間	勤 務 先 名 称		給与所得の収入 金額 (税込)	給与所得以外の 所得金額		
		父				年			万円	万円		
		母					年			万円	万円	
		父または母 死亡・離別の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
		主たる家計支持者無職等の場合 時期 (年 月) 理由 (_____)										
別 居 者 に ○ 印	就 学 者	続柄	氏 名	年齢	学 校 名	設置者別	学校種別		通学別	控 除 額		
		本人			筑波大学	国立			※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
						※国公立 私 立	※小・中・高・高専・大学 専修 (高等・専門)		※自 宅 自 宅外	万円		
家 庭 の 特 殊 事 情	特別控除項目		控除有無									
	障害者がある世帯		※有・無		続柄 () 氏名 () 手帳番号 ()							
	その他											
本 人 の 状 況	家庭からの給付		月額 (千円)				認 定					
	アルバイト		月額 (千円) 内容 (_____)								総収入金額	①
	奨学金	受給中	月額 (千円) 団体名 (_____)				必要経費	②	万円			
		申請中	月額 (千円) 団体名 (_____)				特別控除額	③	万円			
	その他の収入		月額 (千円) 内容 (_____)				総所得金額	④=①-②-③	万円			
学 業 成 績	評 価	高等学校	5	4	3	2	1	平 均 値	収入基準額	世帯人数	人	
		大学 (院)	A	-	B	C	-			⑤	万円	
	修得単位数または科目数								家計充足率	⑥=④÷⑤×100		

- (注) 1. 太線の枠内を記入し、※印は○で囲むこと。
 2. 「給与所得の収入金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額を記入し、所得証明書、源泉徴収票(写)を添付すること。
 (父と母が給与所得者の場合は父と母両方添付すること。年金受給者の場合は年金振込通知書(写)。失業者は雇用保険受給資格者証(写)。
 3. 「給与所得以外の所得金額」欄は、申請の前年1年間の収入金額から必要経費を控除した金額を記入し、確定申告書(写)等を添付すること。
 (父と母が確定申告をしている場合は父と母両方添付すること。)
 4. 「家庭の特殊事情」欄について、障害者のいる世帯については障害者手帳(写)、その他については証明するものを添付すること。
 5. 「学業成績」欄については、1年次生(編入学生を含む。)にあつては出身学校の成績を記入(科目数で平均値を算出)し、成績証明書を添付すること。2年次以上の者にあつては、前年度までの成績(修得単位数で平均値を算出)を記入し、成績証明書を添付すること。